

## 「わかる・できる」喜びを味わわせる学習活動の取組

【羽生市教育委員会】

- 1 学校・学年・教科 中学校・全学年・全教科
- 2 ねらい 「わかる」「できる」喜びを味わわせる学習活動を展開することで学力の向上を図る。
- 3 取組内容 「学力向上」をテーマとした、平成23年度羽生市教育委員会アドバンススクール(羽生市最先端教育)事業の取組を一部紹介する。

### 取組の理念

「わかる・できる」喜びを味わわせる学習活動の充実

「覚えた！」では忘れてしまう→「わかった！」と心から感じ、そしてそれを活用して「できた！」と言える学習活動



- ・「言語活動の充実」を学習過程に位置づけることで伝え合う力を高める。
- ・保護者と連携し学習意欲を高め、家庭学習を確立する。
- ・「規律ある態度」を確立することで学ぶ意欲を高める。

#### (1) 各教科における「言語活動の充実」

- ・定期的に教科会を行い、具体的に言語活動を位置づけた授業づくりを行う。
- ・研究授業、公開授業の指導案にも言語活動を明確にする。
- ・学力の向上のため、「言語活動の充実」と、「習得」と「活用」をバランスよく位置づけた授業を展開する。

#### (2) のべ30日の補充学習

本校は、これまでも数学科を中心に、基礎・基本定着のための補充学習が長期休業日期間に定着してきた。平成23年県学習状況調査結果で数学科は県平均を上回っており、今年度は、長期休業中「のべ30日の補充学習」を看板に掲げ、「わかる・できる」喜びを味わわせる学習活動を展開している。その際、個別指導をより充実させるために、大学生の学習ボランティアを積極的に採用している。



夏季休業中の補充学習

大学生による学習ボランティア

(3) 「教える楽しさ」から、学ぶ意欲を育てる小学生への学習ボランティア

「学ぶ意欲・意味、教える楽しさ」を中学生が小学生に教えることで、自己肯定観を持たせる。平成23年度夏季休業中に、学区内の羽生市立新郷第一小学校と連携し3日間で33名の生徒が参加した。日常では見られないお兄さん・お姉さんぶり、先生ぶりを発揮した。



**小学生にやさしく教える様子**

(4) 豊かな心をはぐくみ、生きる力を育てる道徳の授業

- ・「学力の向上」の基盤となる、道徳性をはぐくむために道徳の時間の一人一研究授業を実施し、心に響く道徳授業の質を高める。
- ・伝え合う力をはぐくむために、話し合い活動を重視し、「言語活動の充実」を学習指導案に盛り込む。

(5) 「学力の向上」の基盤となる「規律ある態度」の確立

- ・立腰(背筋を伸ばす)して人の話が聞くことができる・
- ・授業規律(時間を守る、礼、返事、発表の仕方等)を確立する。
- ・学校生活のルールを守る。
- ・あいさつ、返事、職員室への入り方など礼儀を徹底する。

(5) 家庭学習の充実

- ・家庭学習の取組満足度が1学期55%と低調であり、家庭と連携し学習習慣を定着させるために、定期テスト2週間前から家庭学習カードを活用し、学習計画を立て毎日の勉強時間を記録させる。
- ・定期テストで最も頑張った生徒(伸びた生徒)に、ホップ・ステップ・ジャンプ賞、次点を準ホップ・ステップ・ジャンプ賞として表彰し、生徒の学習の励みとする。

(6) 学ぶ意味(意義)を考える、親子で聞く講演会

映画「学校」の主人公のモデル 松崎運之助氏による講演会 11月29日(火)

4 成果と課題

長期休業中の補充学習や、中学生の小学生への学習ボランティアなど、自主的に学習活動に取り組む生徒が育ってきている。また、教師の言語活動を意識した授業や、規律ある態度をはぐくむ指導も組織的に行えている。今後は、数値的な検証をもとに、より一層の充実を図る。